



解像度XGAに対応
LEDプロジェクター

加賀コンポーネント 小型の発光ダイオード(LED)プロジェクター「KG-PL021X」を今月下旬に発売する。年間4000台の販売を目指す。輝度300lmのLED光源を採用し、最大100%の画面を投射できる。光源の寿命は約3万時間。また国内のLEDプロジェクターとして初めて、解像度XGAに対応したという。2009年に発売した「KG-PL011S」のシリーズ品。本体サイズは幅16%×高さ5.8%×奥行き13.6%、重量800g。実売価格は9万円台後半となる見込み。(03・4455・3161)



作業を効率化できる
ビデオキャプチャー

日立マクセル ビデオキャプチャーレコーダー「VC102」を発売した。カメラに接続し、撮影と同時にカセット型のハードディスク(HD)「iVDR-EX」に記録する。編集機器で映像ファイルを読み出して編集し、作業を効率化できる。リチウムイオン電池内蔵でフル充電時は約90分記録できるほか、別売りの外付けバッテリーで6時間の追加録画も可能。DV、HDV、DVCPROフォーマットに対応。付属のアクセサリースキューアダプターでカメラ上部に取り付けできる。実勢価格は12万5000円前後。(03・3515・8283)

発酵大豆食物繊維サプリメント

ビーアンドエス・コーポレーション



発酵大豆の食物繊維には、腸内不要物の吸着や悪玉コレステロール値の低下効果がある。ビーアンドエス・コーポレーション(東京都千代田区、福井正勝社長、03・3288・0115)が、その性質を利用したサプリメントを開発したきっかけは、「もったいない」の発想だった。

子市の研究所で実験を始めた。大豆を発酵させると食物繊維がスポンジ状に変化し、農薬や食品添加物など、油に溶解しやすい化学物質を吸着することを確認。一方でアミノ酸やビタミンなど、水に溶解しやすい栄養分はほとんど吸着しないという。効果を上げるため、発酵に16種類の乳酸菌を使う同社の技術を活用した。

商品化への課題は価格。低コストで発酵大豆の特性を失わずに粉末化する方法を探り、噴射乾燥方式を採用。09年6月に「大豆の美セシイ」を発売した。価格は約3週間分で2940円。

市場見聞
開発現場から

噴射乾燥で低コスト実現

直線的なフォルムの駐輪場

高さ10mの本棚を4市置いた

ス「1型80)本体める。工事イ「(

金S量アど現しのも00部

な一発ンりた簡